



師田 保

質問

湯沢町は四方を山に囲まれ、自然景観と温泉郷に恵まれ、冬のスキーや観光を中心とした観光立町であることは申すまでもありません。しかし、この基幹産業である観光産業の入り込みが平成3、4年の1千万人をピークに今ではその半数近くまで落ち込んでいるのが現状です。行政改革推進も勿論のことではありますが、必ず町の基幹産業である観光産業の活性化に取り組むことが今湯沢町に求められている最大の課題ではないかと私は考えております。

そこで今回町長のマニフェストの中で唱えられていた「四季型観光地・日本一を目指す」といった観光施策について伺います。

これからどのような施策

をもって観光活性化のために取り組んでゆくつもりかそのビジョンを伺います。

町長答弁

観光振興ということから近年のスキーや観光を中心とした観光客の入り込み減少については私も大変憂慮しているところです。近年の生活様式、ライフスタイルの変化、価値観の多様化、合わせて景気低迷などが大きく影響しているものと思われます。

温泉街などおりの違法駐車の問題も観光のお客様に不愉快な思いをさせないよう極力地域の皆様にご理解を頂きながら対処してまいりたいと思っております。雪国ならではの冬季行事などにつきましては、これも観



観光立町湯沢はかつての賑わいを取り戻せるか  
(湯沢駅構内)

## どのようなプランを持っているか

浅貝流路工整備促進について

質問

もてなしの心を町民の皆様と行政が一体となって湯沢に訪れたお客様にアピールしてゆきたいと思っております。

光施策としては新しい湯沢の魅力としてお客様に喜ばれることでありますので支援体制を整え、早急に関係機関と協議してまいります。

浅貝流路工の整備促進につきましては前町長からも防災の面からも必要不可欠な公共事業として積極的に関係機関に要望していただいているところであります。

いつ何時大きな出水により洪水氾濫が起きるやもしそれ、新町長にも更なる早期整備促進をお願いしたいと想りますが、考えを伺います。

町長答弁

光施策としては新しい湯沢の魅力としてお客様に喜ばれることでありますので支援体制を整え、早急に関係機関と協議してまいります。

浅貝流路工の整備促進につきましては前町長からも防災の面からも必要不可欠な公共事業として積極的に関係機関に要望していただいているところであります。

浅貝流路工整備促進について

災害から地域住民を守るという観点から当該事業は必要不可欠と私も認識しております。今後は地元関係者の方々と話し合いを重ね合意点を見出し、更に関係省庁には自然と調和した観光地に相応しい工法で整備をしてまいりたいと思っておりますので関係者皆様のご協力をお願い致します。